

橋爪 紳也 (はしづめ・しんや)

大阪府立大学21世紀科学研究機構教授、大阪府特別顧問、橋爪総合研究所代表、社団法人生活文化研究所所長。1960年大阪市生まれ。84年京都大学工学部建築学科卒業。86年同大学院工学研究科修士課程修了(建築学専攻)後、大阪大学大学院工学研究科博士後期課程で都市計画学・環境工学を修める。主な著書は、『創造するアジア都市』(NTT出版)、『絵はがきで読む大大阪』(創元社)、『水都』大阪物語』(藤原書店)など。

推薦者

「まつり」と「地域のか」について書かれた本は、大きく分けて2種類しかない。ひとつは「まつり」を維持しているコミュニティに属する人間が、誇りをもって維持している自分たちの行事について、その内容を詳述するもの。もうひとつはコミュニティの「外」の人間が、参与観察や文献調査を行った成果をまとめるものである。

インサイダーによる前者は、著者の「まつり」への想いの強さが筆致から伝わる「ホット」な本になりがちだ。対してアウトサイダーが手がける后者では、研究の枠組みや分析の理論を事前に用意してしまう傾向があり、知的好奇心を満たしてくれるが、結果的に「クール」な研究書になる。

本書は前者のタイプの著書のなかで、近年、もっとも印象に残った一冊だ。著者・編者をはじめ、写真・絵図・装丁などに関わったデザイナーの誰もが、幼少の頃から岸和田のまちなかに暮らし、祭りに親しんで育ったという。祭りの当事者による企画は、往々にして御当地自慢に走り過ぎだが、本書はそうではない。祭りの真髄を紹介し、本質に触れつつも、できるだけ客観的にその全体像を記載しようとする姿勢に好感を持てる。

泉州各地で行われている秋祭りのなかでも、岸和田の「だんじり」は「遣り回し」の勇壮さで知られている。本書では、その由緒や現状など祭礼のすべてを総覧しているが、なかでも多数の写真や図版を用いた地車の解説にページを割く。

この本では、現役だけではなく江戸・明治から現在にまで継承されている岸和田型地車267台のすべてについて、その履歴と詳細を紹介している。戦記物語や神話物語の名場面を題材とした腰まわりや見送りの彫り物、軒下の枘組の細工、番付標や旗受けなど、隅々にまで職人の手が入った見事な工芸作品だ。今後、すべての研究者が、この本を読まずに、岸和田型地車について語るできないほどの充実度だ。

本書を読んで、「まつり」という伝統行事は、コミュニティが担う「地域のか」を持続するだけでなく、地場産業や伝統を継承するうえでも有効である点を改めて感じた。地車を造作し、修理するために、人生をかけて腕を磨き、弟子を育てる工匠や彫刻師がいる。郷土の「まつり」を維持する目的で、伝統的な産業や技術、ひいては材料となる木材を確保する活動までが一体となる。「地域のか」を集大成することで、「まつり」は世代を越えて引き継がれるのだ。



CEL

泉田祐志・萬屋誠司・江弘毅著 — ブレーンセンター刊

『岸和田だんじり讀本』

「まつり」が育む地域のかを紐解くヒント

Books : editor's choice

- 『天神祭—火と水の都市祭礼』大阪天満宮文化研究所編 思文閣出版 (2001年)
- 『大阪の祭』旅行ペンクラブ編 東方出版 (2005年)
- 『南スペイン、白い村の陽だまりから』石井崇 東京書籍 (2005年)
- 『文化によるまちづくりと文化経済』端信行、中谷武雄編 晃洋書房 (2006年)
- 『市民マラソンの輝き—ストリートパーティーに花を!』大島幸夫 岩波書店 (2006年)
- 『日本の祭り—知れば知るほど』菅田正昭 実業之日本社 (2007年)
- 『日本の祭り事典』芳賀日出男 汐文社 (2008年)
- 『祭りのゆくえ—都市祝祭新論』松平誠 中央公論新社 (2008年)
- 『とっておきの里祭り—もっと知りたい日本のふるさと』岡村直樹 心交社 (2008年)
- 『お祭りと祝祭が会おうとき—日韓のまつり文化を比較して』小倉紀蔵、金容雲、小倉紀蔵ほか アドニス書房 (2008年)
- 『「女装と男装」の文化史』佐伯順子 講談社 (2009年)
- 『東北学／忘れられた東北』赤坂憲雄 講談社 (2009年)
- 『子ども組—伝統祭事の主役たち』田沼武能 新日本出版社 (2009年)
- 『スペイン 祭り歳時記』板倉元幸 ARTBOXインターナショナル (2009年)
- 『ドイツの民衆文化—祭り・巡礼・居酒屋』下田淳 昭和堂 (2009年)
- 『東アジアの民衆文化と祝祭空間』鈴木正崇 慶應義塾大学東アジア研究所 (2009年)
- 『姫路の祭り屋台／改訂版』新聞総合出版センター (2010年)
- 『祭りの季節』池内紀、池内郁 (写真) みすず書房 (2010年)
- 『にっぽん 祭り日—受け継がれる故郷の祭り』森井禎紹 日本写真企画 (2010年)
- 『つながりのコミュニティ—人と地域が「生きる」かたち』佐藤友美子、土井勉、平塚伸治 岩波書店 (2011年)
- 『「水都」大阪物語—再生への歴史文化的考察』橋爪紳也 藤原書店 (2011年)
- 『祈りの原郷—祭りと芸能を訪ねて』高瀬美代子 海鳥社 (2011年)